

報告事項ウ

令和5年度全国学力・学習状況調査の実施について

令和5年度全国学力・学習状況調査の実施について、別紙のとおり報告します。

令和5年5月17日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和5年度全国学力・学習状況調査の実施について

令和5年5月17日

小中学校課

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 現状と課題について

- ・令和4年度の教科調査では、小学校国語・算数では全国平均を下回ったものの、中学校国語・数学などについては改善の兆しが見える。
- ・近年取り組んできた授業改善の取組や、市町村と連携した学校訪問等が少しずつ成果をだしつつある。
- ・小学校、中学校共に、話し合い活動を取り入れた授業改善が進んできたが、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することに課題がある。引き続き、学習指導要領に沿って、「今、求められる資質・能力」を育成するための授業改善を推進することが必要である。
- ・近年増加する若手教員等の指導力向上、国語科の指導力向上、さらに学級経営の難しい学校への支援など、重点化を図った支援が必要である。

3 実施日、学年、教科・内容について

(1) 本体調査

- ・調査実施日：令和5年4月18日（火）
 - ※中学校英語「話すこと」調査の実施日
令和5年4月18日（火）から5月26日（金）まで
 - ※児童生徒質問紙調査の実施日等
令和5年4月10日（月）から5月16日（火）までの間に、一部の学校で、一人一台端末を活用したオンライン方式で実施。
- ・調査対象：小学校6年生、中学校3年生（原則として全児童生徒）
 - ※義務教育学校及び特別支援学校を含む。
- ・調査事項：
 - ①児童生徒に対する調査
教科に関する調査（国語、算数・数学、中学校英語）
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査
 - ②学校質問紙調査
指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等

4 調査参加校数、人数について

【学校数・児童生徒数】※公立学校のみ

	調査対象校	4月18日 実施校	児童生徒数
小学校調査	119校 ※義務教育学校前期課程6校を含む	119校	約4,800人
中学校調査	59校 ※分校2校・義務教育学校後期課程6校・特別支援学校中学部1校を含む	59校	約4,400人
合計	178校	178校	約9,200人

5 今後のスケジュール（予定）

期 日	内 容
6月	本調査の問題を活用した授業づくり研修会（オンライン）の実施
7月下旬	文部科学省による調査結果の公表 鳥取県教育委員会による鳥取県内の状況についての調査結果の公表
8月～	調査結果の分析
12月	調査の分析結果等について「とっとり夢ひろば！」掲載

6 調査の活用方法

- ・調査によって明らかとなった児童生徒の学力・学習状況の分析結果等について、「とっとり夢ひろば！」等で発信する。
- ・本調査の問題を活用して「今、求められる資質・能力」を育成するための授業づくり、授業改善を推進するための研修会等を実施する。
 - ・本調査の出題傾向を踏まえた授業づくり研修会（オンライン）の実施
 - ・県が作成した学校向けの研修パッケージの活用促進
- ・本調査に関わりのある講師を招聘し、研修会を行う。
- ・県教育委員会と市町村教育委員会が連携した学力向上に係る取組を推進する。
 - ・「活用問題集」を活用した授業改善の取組（B-P-L-A-N）
 - ・「小学校算数単元到達度評価問題」を活用した授業改善の取組

7 調査結果の公表について

県教育委員会は県民に対する説明責任を果たす観点から、以下の項目について調査結果を公表する。その際、調査により把握できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどについて十分留意するものとする。

【公表する項目】

- ・調査の概要：調査の目的、実施期日、参加学校、参加人数、調査項目
- ・調査結果：県平均正答率、質問紙調査の結果